

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2016年度4回常任委員会 議事録

- 1 日時：2016年7月21日(木)午後4時～午後6時30分
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室

3 出席者の確認

常任委員総数9名のうち、常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：大西 健丞

NGOユニット：橋本 笙子

外務省：民間援助連携室長 関 泉

経済界：永井 秀哉

経済界：エディ 操（欠席につき表決権委任：有馬委員）

学識経験者：石井 正子（欠席につき表決権委任：飯田委員）

学識経験者：堀場 明子（欠席につき表決権委任：有馬委員）

代表理事：有馬 利男

事務局長：飯田 修久

オブザーバー

外務省：民間援助連携室 村澤 龍

アドバイザー：金田 晃一

AAR：穂積 武寛

CWS：小美野 剛

議長は、常任委員会規約の第3条により事務局長が務める旨を確認した。

4 第一部：審議事項

- (1) 第一号議案：第3回常任委員会&第25回「共に生きる」ファンド助成：常任委員会議事録の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

- (2) 第二号議案：プログラム(アガニスタ・パキスタン地震)の民間資金収支と残金の繰り入れについて
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。但し、民間資金残金の「アフガニスタン人道支援プログラム2016」への繰入に当たっては、事前にドナーへ説明し承認を得ること。

- (3) 第三号議案：セキュリティNGOワーキンググループの事務局設置について
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

大西代表理事へ一任することになった。

(4) 第四号議案：ミャンマーにおける助成事業の執行状況について

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

承認。

国境なき子どもたち(KnK)に対し、以下の通り改善要求を求め、それに対する対策の提出を求める。

- ・今回の指摘を踏まえ、事業実施・会計に関する団体の管理体制を強化すること。
- ・改善要求に対し、書面にて対応策を提出すること。

5 第一部：報告事項

(1) 財務状況の報告

事務局より、「6月度の財務状況」について報告した。

(2) 九州地方広域災害被災者支援について

事務局より、「九州地方広域災害被災者支援」(寄付総額：4.77億円、助成事業：計22事業)について報告した。

(3) NGOユニット会費について

審議事項：第三号議案と関連し、会費のうち、任意分については、セキュリティワーキンググループの活動に充当することを報告した。

(4) 加盟団体の退会について (Civic Force)

事務局より、「公益財団法人 Civic Forceの退会」(7/1付け)について報告した。

(5) UNHCR/JPF共催シンポジウム：シリア危機(6/20)の報告

事務局より、「UNHCR/JPF共催シンポジウム：シリア危機」のアンケート集計結果について報告した。(参加者数：322人)

(6) 南スーダンシンポジウム(7/9)の報告

事務局より、「7/9独立記念日開催 南スーダン ～若者たちのはじめての国づくり～」(後援：外務省)について報告した。

(7) イエメン人道危機対応コンセプトノート審査結果について

事務局より、「イエメン人道危機対応プログラム コンセプト・ノートによる事業審査結果」(ADRA、ICANへ助成)について報告した。

(8) 企業連携の強化に向けた調査について

報告なし。

6 第二部：審議事項

(1) 第一号議案：モンゴル雪害対応2016にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

① SCJ：ゾドからの復興のための教育支援及び災害リスク軽減・対応力向上支援事業
(政府支援金)

条件付き承認。

- ・ログフレームにおける目指す成果および指標をコンポーネント内の活動毎に見直した上で、適切に設定し直す。

(2) 第二号議案：ミャンマー少数民族帰還民支援にかかる事業計画の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

- ① BHN：カレン州における電力支援による避難民帰還にむけた生活環境整備（第1期～第3期事業）のフォローアップ事業（政府支援金）

条件付き承認。

- ・研修の全体スケジュールに関し、雨季におけるアクセスの制限などを考慮した現実的な計画を作成し提出する。また、それに合わせて国際スタッフの渡航も見直す。
- ・トレーナー研修はToT形式が想定されているが、研修の中でどの時点で誰が対象となるのか、実施者と対象者の関係を明確にした上で申請書に記載する。

- (3) 第三号議案：南スーダン支援緊急対応期にかかる事業計画の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

- ① ADRA：エチオピア テレキディ難民キャンプにおける世帯別トイレ建設・衛生啓発事業2（政府支援金）

条件付き承認。

- ・UNHCR/ARRA/WASHクラスターによる世帯別トイレ建設に関する全体の支援計画を示し、ADRAの本事業の位置づけを明確にすること。加えて、世帯別トイレを行き渡らせるために、トイレの仕様を含めUNHCR/ARRA/WASHクラスターに対して提言する。また、その旨を申請書内に記載する。
- ・事業実施体制について、予定している本部からのサポート要員に経験者を配置するなど、本部のバックアップ体制を含めて見直す。

- ② WVJ：エチオピア 南スーダン難民キャンプでの教育・衛生環境整備事業（政府支援金）承認。

7 書面による報告

- (1) NGOユニットおよび事務局より、書面をもって以下を報告した。

- ① NGOユニットからの報告
- ② 「共に生きる」ファンド第28回収支報告書調査結果
- ③ 事業計画変更の報告
- ④ JPF事務局審議結果の報告
- ⑤ 固定資産処理の報告
- ⑥ 終了報告書審議結果の報告

No.3 アフガニスタン・パキスタン人道支援:WVJの案件に関し、終了報告書の承認後、返還金の変更があったことを報告した。変更については、団体と書面にて確認を交わしている。

- ⑦ コアチームの報告

- (2) 次回開催日時と会場について

会場をJPF事務局とし、以下の日程で常任委員会を開催することを確認した。

2016年度第5回常任委員会：2016年8月25日（木）16時より 麴町GN安田ビル4F

2016年度第6回常任委員会：2016年9月23日（金）16時より 麴町GN安田ビル4F

2016年度第7回常任委員会：2016年10月19日（水）16時より 麴町GN安田ビル4F

2016年度第8回常任委員会：2016年11月17日（木）16時より 麴町GN安田ビル4F

2016年度第9回常任委員会：2016年12月20日（火）16時より 麴町GN安田ビル4F

2016年度第10回常任委員会：2017年1月19日（木）16時より 麴町GN安田ビル4F
2016年度第11回常任委員会：2017年2月16日（木）16時より 麴町GN安田ビル4F
2016年度第12回常任委員会：2017年3月16日（木）16時より 麴町GN安田ビル4F

以上